

営農経済の拠点施設完成

西宮農経済センターと西合志中央支所竣工式



西合志中央支所

西宮農経済センター

出向く体制の確立に向け、営農支援の拠点施設として合志市に新設した西宮農経済センターと、西合志中央支所の竣工式を4月12日に行いました。24日からプレオープン。5月1日から業務開始。竣工式にはJA役職員、行政関係者、施工業者ら64人が出席し、利用事業の発展を祈願。三角組合長が「情報交換の場として組合員のよりどころとなる、ワンストップ型の拠点施設として構想を進めてきた。組合員・利用者に愛される地域営農経済の拠点となるよう役職員一丸となって努めていきたい」とあいさつしました。

センターの延べ床面積は約1155㎡。営農課、購買課、園芸販売課を設置。農産、購買（肥料・農



三角組合長あいさつ



神事

薬・資材)、配送、農政行政対応、農産物集出荷、園芸指導などの業務を行います。西合志中央支所の延べ床面積は約432㎡。総合支援課、金融共済課を設置し、センターと連動して組合員の所得向上、農家支援を図ります。

みどりの食料システム戦略

新世紀JA研究会 第29回全国セミナー JA菊池で開催

JAを担う全国の役職員有志でつくる新世紀JA研究会の第29回全国セミナーが4月13、14日の2日間、JA菊池を会場に開かれました（菊池での開催は15年ぶり2回目）。農業の展望を議論・共有することを目的に全国から170人のJA役職員、その他関係者が参加しました。

1日目は、農水省畜産局畜産振興課の安松恵一郎氏が「みどりの食料システム戦略」と題して



農水省 安松課長補佐



三角組合長



全農 高橋次長



基調講演。続いて、三角修組合長が「堆肥入り複合肥料開発までの道のり」を、JA全農耕種資材部次長高橋正臣氏が「堆肥入り複合肥料の製造・流通・販売」について講演しました。

2日目は、キャトルブリーディングステーション、有機支援センター合志の現地視察。まんまキッチンでの「花純」お披露目と焼肉昼食会を行いました。

カスミソウ酵母の日本酒「花純」

新酒販売 一合缶と「花純」酒粕漬けのチーズも登場!



まんまキッチンで4月15日から販売を始めました。2年目の新酒は香りも高くおいしく仕上が、新商品の「一合缶花純」と、「花純の酒粕に漬け込んだオリジナルチーズ」も同時販売。720mlの瓶入りは限定2000本（1本2200円）。飲みきりサイズの1合缶（180ml）は4400缶（1缶600円）で、内1000缶は日本酒の消費拡大や地域の活性化に取り組むAgnabi（アグナビ）が、東京中心に全国で販売します。チーズは280個（ナチュラルチーズ1個100g、800円）を順次製造予定。管内の生乳を使用し、らくのうマザーズで加工・商品化しました。化粧箱も作り、贈り物に使える詰め合わせ商品も準備しています。牛乳の消費拡大にもつながりたいと考案した酒粕漬けのチーズは、舌触りも良くなめらかで食べやすく、おいしく仕上がっています。

農業と生活を守ろう

令和5年度事業進発式 目標達成に向けて決意

事業進発式を4月3日、パシオンで行い事業方針や事業目標、コンプライアンス（法令遵守）プログラムを周知徹底。本年度目標達成に向け、全役職員で決意を新たにしました。三角組合長



西合志中央支所 宮本さん

は「原油や肥料が高騰し、農家の経営を圧迫した。農協の相互扶助の精神の下、農家に寄り添い、農業と生活を守り、JAが未来永劫であるように精進していこう」とあいさつ。西合志中央支所金融共済課の宮本ひよりさんが「一丸となって頑張ろう」と声を上げ、役職員で三唱しました。新入職員の紹介、永年勤続表彰、窓口コンテスト、中央支所だよりコンクールなどの表彰、職員資格認定書伝達なども行いました。

